

JENESYS2015 招へいプログラム

対象国：インド（テーマ：技術、科学技術・先端技術交流／文化、日本語コミュニケーション・日本文化体験）の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、インドより、「科学技術」と「日本語、日本文化」に関心を有する高校生、大学生の計 90 名が来日し、日本の政治、社会、文化、歴史、科学技術および日本語に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、1 月 20 日から 1 月 26 日までの 6 泊 7 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

インド 90 名

3. 訪問地

東京都(全員)、愛知県 60 名、大阪府・奈良県・兵庫県 30 名

4. 日程

1 月 20 日（水） 成田国際空港より入国、来日オリエンテーション

【最先端技術視察】日本科学未来館(技術 B グループ)

【歴史的建造物視察】浅草(文化グループ)

1 月 21 日（木） 【基調講演・学校訪問】東京大学大学院(技術 A・B グループ)

【日本理解講義・基調講演】(文化グループ)

3 つのグループに分かれて各地方へ移動

【歴史文化視察】大須観音・商店街視察(文化グループ)

1 月 22 日（金）～1 月 24 日（日）

1. 技術 A グループ(大学生)：愛知県

【学校交流】豊橋技術科学大学

【地場産業視察】株式会社デンソー

【地域交流】ホームステイ

【ワークショップ】報告会準備

2. 技術 B グループ(大学生)：大阪府・奈良県

【最先端技術視察】理化学研究所/計算科学研究機構、神戸医療産業都市

【地場産業視察】ダイキン工業株式会社「フーハ大阪」

【学校交流】大阪大学

【歴史的建造物視察・文化体験】東大寺視察、茶の湯体験

【地域交流】ホームステイ

【ワークショップ】報告会準備

3. 文化グループ(高校生・大学生)：愛知県

【学校交流】愛知県立刈谷北高等学校、愛知県立尾北高等学校

【地域交流】ホームステイ

【ワークショップ】報告会準備

1月25日（月）各地方から東京へ移動

【最先端技術視察】日本科学未来館（技術 A グループ）

【報告会】訪日成果・帰国後活動計画発表

1月26日（火）成田国際空港より出国

5. JENESYS 2015 プログラム記録写真

インド 技術（科学技術・先端技術交流）グループの記録



1/20【基調講義】東京大学大学院工学系研究科（東京都）



1/22【学校交流】豊橋技術科学大学（豊橋市）



1/22【地域産業】株式会社デンソー（刈谷市）



1/22【最先端技術】理化学研究所・計算科学研究機構スパコン京（神戸市）



1/22【最先端技術】神戸医療産業都市（多細胞システム形成研究センターCDB）（神戸市）



1/22【地場産業】ダイキン工業株式会社「フーハ大阪」（大阪市）



1/23【学校交流】大阪大学大学院工学研究科
(大阪市)



1/24【日本文化体験】さかい利晶の杜・茶道
体験 (堺市)

インド 文化（日本語コミュニケーション・日本文化体験）グループの記録



1/20【歴史的建造物視察】浅草（東京都）



1/21【日本理解講義】（東京都）



1/22【学校交流】刈谷北高等学校（仮谷市）



1/22【学校交流】刈谷北高等学校（仮谷市）



1/22【学校交流】尾北高等学校（江南市）



1/22【学校交流】尾北高等学校（江南市）

6. 参加者の感想

◆ インド 大学生

私が気に入ったものはたくさんあります。たとえば日本の文化、伝統、おみやげ、電子機器、神社、山、川、産業などです。一番好きなのは、温かく礼儀正しい日本の皆さんです。ホームステイは JENESYS2015 プログラムのハイライトでした。短い時間でホストファミリーと仲良くなり、自分の故郷を離れているという感じがまったくしませんでした。おいしい日本の料理を食べ、ホストファミリーのために私たちもインドの料理を作りました。また日本のおいしい料理も知りました。私たちは意見交換をしたり、お互いの文化や伝統を伝えあったりしましたが、似ているところがたくさんあったのは驚きでした。また茶道をしたのも素晴らしい体験になりました。日本の皆さんの時間を守る姿勢や親切さに、私は胸がいっぱいになりました。東京大学と豊橋技術科学大学を訪問し、日本の教育制度も学びました。東大で見たロボットは見事でしたし、豊橋技術科学大学ではたくさんの学生と交流もしました。デンソー訪問も素晴らしかったです。私は今まであまり知りませんでしたが、デンソーのオルタネータ、環境や安全に対する基本理念について多くを知りました。これらの思い出は一生忘れることはないと思います。

◆ インド 大学生

日本人はとても親切で、時間を厳守します。また、文化を大切に保存し、勤勉で、親しみやすい国民です。ホームステイでは、ホストファミリーの子どもたちが様々な遊んだり、友達と自転車乗りを楽しんだり、とても微笑ましい光景を目の当たりにしました。スーパーコンピューター京や新幹線などの技術や研究分野についてもたくさんの学びがありました。特に、新幹線のような技術が1964年にすでに開発されたことは、大きな驚きです。また、産官学による研究、確立されたインフラ、地震対策や復興政策など、帰国後インドの人々と共有したいことばかりです。伝えたいことがたくさんありますが、それらをソーシャルメディアや JICE のウェブサイトを通して、確実に共有していくつもりです。

◆ インド 日本語学校生徒

日本の何もかもが私にとって大変感動的でした。日本に到着して以来、私たちがホストファミリーや皆さんたちから受けたご親切や気配りには本当に感激しました。浅草や皇居、木村秀夫先生の日本概要講義、大須観音で、私たちは伝統的な日本をより深く知ることができましたし、講義を通して、以前は知らなかった政策などの重要な点を学ぶことができました。刈谷北高等学校は今まで私が見てきた中で、最高の学校の一つです。先生も生徒もとても礼儀正しく、協力的です。私たちは剣道、書道、茶道に参加しました。ホームステイでは日本の生活様式を体験することができましたし、私たちがホストファミリーからもらった愛情と心配りは本当にすばらしく、まるで自分の家族のようでした。私には今、インドと日本に二つの家族と多くの友達がいると言えるのです。日本が大好きです！！

◆ インド 日本語学校生徒

日本訪問の初日から最後の瞬間まで、日本で得た一つ一つの経験が途方もなく大きく、忘れがたいものとなりました。最初に私たちは日本と日本文化についての概要講義を受けました。日本のことを知るには時間が限られていましたが、それでも、日本が過去の様々な困難、すなわち自然災害や、社会的・経済的危機を乗り越え、技術を磨き、短期間のうちに世界の先端を行く国の仲間入りをし、最も人気のある国になっていったことにわくわくし、同時にとても感動しました。また、私

私たちは日本の学校、尾北高等学校を訪問しました。先生方や生徒の皆さんと出会い、歓迎会に出席し、個別に多くの人たちと交流もでき、とても新鮮な体験でした。日本の若い人たちがどんなことを考えているのかがだんだんわかってきて、とてもよかったです。日本滞在中で、最も記憶に残り、驚きだったのはホームステイです。私たちが出会えたホストファミリーはとても親切で色々とお世話をしてくれました。ホストファミリーにとって私たちは全く他人ではないかのようでした。一緒にいて自分の家にいるような感じがしました。私たちは日本の伝統や文化、歴史、食べ物など様々なことを学びました。ホームステイはあまりにも短いので、お互いをよく知る十分な時間が取れないことも有り得たと思います。ところが実際は、この短い2泊3日の間に、まるで本当の家族のようにとっても親しくなることができました。短期間でしたが、日本や日本の家族を知ることができ、たくさんの方を訪ねることができてとても幸せでした。私は必ずまた日本に戻って来ます。日本文化や伝統について、私の知っている限りのことを私の国で発信します。

7. 参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）

Our Discoveries during JENESYS Trip Technology - Heavy R & D funding in Universities - Industry Driven Projects - R & D, Academic Institutions, Industries and Consumers all follow the concept of 'Mono-Tsukuri', 'Hito-Tsukuri' and 'Kaizen'.	What we will do Promotion of R & D and University Culture of Japan at IIITDM-J - Organizing Informative Sessions on Research and Development at IIITDMJ along lines similar to that experienced at University of Tokyo and TUT. - Sessions on Japanese Innovation and Manufacturing Processes in Technical Clubs at IIITDM-J
日本での気づき（技術 A グループ）	アクションプラン（技術 A グループ）
What we Learnt... Technology - Huge emphasis on Science and Technology - Integration of Academia, Industries and Government - Making technology accessible to public - Translation of technology Culture - Unique blend of modern and traditional architecture - Valuing traditional practices - Ease in flow of information - Learning towards authentic healthy food. Society - Emphasis on practical learning from early age. - Discipline and punctuality - Resilient attitude - Hospitality and humility - Technologically sophisticated	Plan 2 - Promoting of Japanese ideology through College Fests ELAN 2016 INDO-JAPAN COLLABORATION K Super Computer Todaji Temple Tea Ceremony - Elan is the biggest Techno-Cultural Fest on Telangana - Students from all over India participate. - Golden opportunity for students to know about Japanese culture, society and technology
日本での気づき（技術 B グループ）	アクションプラン（技術 B グループ）
After Coming - Nice traditions and customs. - Food is very delicious, amazing and fantastic. - Not easy to communicate in English but they try hard to communicate. This is respectable. - Everything is developed and organized, with great technology. - Disaster Management & Environmental Consideration is very effective.	WHAT & HOW? - HELPFUL PERSONALITY — Friends, Family, Relatives, SNS, Blogs, Youtube videos, start by ourselves. - GOOD MANAGEMENT — Tell friends about the Shinkansen face to face, SNS, teach others, reach out to companies, take school presentations. Souvenirs. - ADVANCED TECHNOLOGY — Tell friends face to face, SNS, teach others, reach out to companies, take school presentations. - MANGA & ANIME, POP CULTURE — Friends, people interested in Manga, Anime & Pop Cultures and others too, Souvenirs. - TRADITIONS & CULTURE — Discussing with people of the Japanese School, school presentations, with friends & family & Cultural programmes.
日本での気づき（文化グループ）	アクションプラン（文化グループ）